

東京大学グローバル教育センター日本語教育部門 非常勤講師の公募について

本部門では、下記の通り非常勤講師を公募いたしますので、お知らせいたします。

職務内容	主に本学の後期課程学生・大学院生・研究者に対する初級～中上級の日本語教育、及びそのために共同で行う教育方法開発等への参画
募集人数	若干名
契約期間	2026年4月1日～2027年3月31日
更新の有無	更新する場合があります。更新する場合は1年ごとに行う。但し更新回数は2回、在職できる期間は2029年3月31日を限度とする。更新は、予算の状況、従事している業務の必要性、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮の上判断する。
試用期間	採用された日から14日間
就業場所	東京大学グローバル教育センター日本語教育部門。ただし、主としてオンライン（Zoom）授業。時期により、東京大学本郷キャンパスでの授業もありうる（応相談）。
就業日・就業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・4月中旬～7月下旬，10月中旬～12月中旬，1月上旬～下旬の間，週2日以上勤務し，原則として 授業を週 4コマ以上担当（1コマ105分），あわせて授業に関連する職務（教材作成，提出物のチェックなどの他，年数回のミーティングへの出席なども含む）を担当する。 ・上記以外の期間についても，臨時に開講する短期コース等を担当することがある。 ・応募時点では，2026年度の「勤務可能な曜日」を特定して届け出る必要はない。
休日	土・日，祝日，年末年始（12月29日～1月3日）
給与等	東京大学非常勤講師の就業に関する規程により，年齢・実績・能力等に基づき決定する。規程は下記参照。 https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_syuki/syuki33.pdf
加入保険	法令の定めるところによる。
応募要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>勤務上の要件</u> 上記職務内容に対応できる方。 2. <u>学歴</u> 大学院修士課程を修了している方。（2026年3月までに修了見込みの方を含む。ただし，2026年4月時点で，東京大学に在学予定の方は応募不可。） 3. <u>日本語教育歴</u> 本学の後期課程学生・大学院生・研究者を教えるのにふさわしい教育歴と，それに基づく知見を有する方。（ただし，「個人教授」「TA」は日本語教育歴の計算に含めない。） 4. <u>日本語教授者としての要件</u> 下記の各項をすべて満たす方。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 初級～中上級学習者に，一般の教材や本部門の開発教材を用いて，学習者が学んだことを教室外の実際の日本語使用に活かせるような教育を行える方。 (2) 日本語教育学界の研究の蓄積と最近の動向を把握し，それらを踏まえた効果的な教育と教材作成を行える方。

	(3)他の教授者と協働して、本学の学習者の実状にふさわしい日本語教育を追究できる方。
応募書類 ・提出方法	<p>1. 応募書類 ※別紙参照</p> <p>2. 提出方法</p> <p>以下のWebサイトに登録，同サイトの求人情報のJREC-IN Portal Web応募により別紙の「応募書類」(1)～(5)を提出すること。</p> <p>https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop</p> <p>なお，「応募書類」は，(1)～(5)の番号順に重ねて<u>1つのPDFファイルに</u>すること。</p> <p>※応募書類は返却しないので，予めご了承ください。</p>
応募期限	<u>2025年11月17日(月)</u>
選考方法	<p>1. 第1次選考：書類選考</p> <p>12月1日(月)をめどに結果を（通過の場合は第2次選考の日時も）eメールで通知する。</p> <p>2. 第2次選考：面接・模擬授業等の実施</p> <p>第1次選考通過者を対象に，2025年12月14日(日)，15日(月)のいずれかに，時間帯を指定して，オンライン(Zoom)で面接・模擬授業等を実施する。所要時間は30分程度。選考は第2次選考までとし，採否は12月中に通知する。詳細は，第1次選考通過者に通知する。</p>
問い合わせ先	東京大学 教育・学生支援部 国際教育推進課 企画・総務チーム（日本語教育部門事務 担当） ic.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
募集者名称	国立大学法人東京大学
受動喫煙防止措置の状況	敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・取得した個人情報は，本選考以外の目的には利用することはない。 ・採用時点で，外国法人，外国政府等と個人として契約している場合や，外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合，外為法の定めにより，一定の技術の共有が制限され，結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合，当該契約・利益については，職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。 ・東京大学はダイバーシティ及び男女共同参画を推進しており，採用者にはグローバル教育センター及び東京大学におけるダイバーシティ，エクイティ，インクルージョンの促進に寄与することが求められる。

[別紙]

東京大学グローバル教育センター日本語教育部門非常勤講師公募(2026年度)応募書類

(1) **履歴書** 以下の URL から「東京大学履歴書（非常勤講師用）」をダウンロードし、作成すること。https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01_00001.html

- ・写真：貼付しないこと。
- ・連絡先：「11月から12月にかけてメールを読めるメールアドレス」を記す。
- ・職歴等：日本語教育に関する職歴は、専任・非常勤を問わず記す。ただし、個人教授とTAは、記さないこと。

(2) **授業案（教案）** 「～{た/ない}ほうがいい」を新規項目として教える具体的な授業案を、下記の条件に沿って作成すること。

- 1 授業のゴール：これを新たに学ぶことによって、何が伝えられるようになるのかを、学習者が、自らの生活の具体的な文脈に照らして理解し、それを実現できるようになることをめざす。
- 2 学習段階：初級後半
- 3 関連表現や既習事項との関係：1)「Nのほうが～」は比較表現として既習。「～た/らいい」も既習とする。2)「～といい」は未習とする。この時間内での扱いは応募者の裁量に委ねる。
- 4 学習者：世界各国からの留学生。（本学の後期課程学生・大学院生、母語はさまざま、約10人）
- 5 教室での使用言語：できるだけ日本語を使用するが、必要に応じて英語も使用。
- 6 授業時間：105分。
- 7 授業案の書式：自由。
- 8 分量：A4判3枚以内。（タスク等で補助教材を使う場合は、その概要がわかる資料を、授業案本体の後に付け加えて提出。その資料もA4判、枚数は本体と別に3枚以内とする）

(3) 「日本語教育における私の現在の関心／問題意識」 （A4判1枚以内）

上記のテーマについて、各自の教育体験に基づき、できるだけ具体的に、実践可能な方向を探りつつ書くこと。対象とする学習者のレベルは、初級～中級とする。

(4) **主要研究業績表** 修士（博士）論文の題目を記すとともに、発表論文・口頭発表・公刊された教材などがあれば、題目その他必要な情報を記すこと。現物やコピーの添付は、現時点では必要ない（第1次選考後に、業績の一部の現物かコピーの提出をお願いすることがある）。

(5) **第2次選考の日時に関する制約** 第1次選考を通過した場合、12月14日(日)、15日(月)のいずれかに、時間帯を指定して第2次選考を行う。このうち都合の悪い時間帯があれば（制約がない場合もその旨）記すこと。なお、制約が多すぎた場合は、対応できないこともあるので留意すること。

※本部門の詳細はこちらをご覧ください。

<https://globe.u-tokyo.ac.jp/nkc/index.html>

以上